

消防団長研修会を大洗町で開催



6・7月号

発行所 水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
財団法人 茨城県消防協会
編集発行人 編集者 衛 梨
印刷所 富士オフセット印刷(株)
(1部 15円)

平成二十三年年度消防団長研修会が大洗町の「オーシャンビュー大洗」を会場に、六月三十日(木)～七月一日(金)の日程で開催されました。この研修会は当協会の重要行事で、毎年茨城県との共催で実施しており、今年の出席者は、各市町村消防団長四十六名、同随行者三十二名、茨城県十一名、日本消防協会一名など、合計九十四名に上りました。研修は、最初に「茨城県消防防災行政の概要について」として、県消防防災課の高大課長、県立消防学校の岩島校長から、消防防災課の主要事業、教育訓練計画等について順次説明がありました。続いて、「日本消防協会における各種共済制度について」として、日本消防協会の柴垣事務局長から各種共済制度の概要について説明を受けました。その後、休憩をはさんで、大洗町消防本部の佐久間次長と北茨城市消防本部の尾形救急救助係長から、それぞれの地域における東日本大震災の被害状況と消防職・団員の活動について講演をいただきました。画像を使った説明であったことから、被害の生々しさが鮮明に映し出され、出席者は真剣な眼差しで聴講していました。最後に、「茨城空港の利用について」として、県空港対策課の横山副参事から利用状況等の説明がありました。研修後の情報交換会には、

常に消防関係の行事は、万障繰り合わせて出席したいという橋本知事にもご参加いただきました。事務方も同席しての情報交換会は、消防団運営のあり方や女性消防団の結成状況、あるいは団員確保対策等について活発な意見交換と交流が図

られたものと確信しました。翌日は、大洗町消防本部の佐久間次長の説明を受けながら、大洗町の東日本大震災における大洗港の被災状況を視察し、防波堤の亀裂など被害の大きさを痛感させられました。



北茨城市消防本部 尾形係長の講演



大洗町消防本部 佐久間次長の講演

関東甲信地区消防協会 実務担当者会議が 日立市で開催

毎年、関東甲信(一都八県)地区を持ち回りで開催されている日本消防協会主催の実務担当者会議が七月十四日～十五日に開催されました。

会場となった日立市の「鶴の岬」には各都県の事務局長や担当者が出席し、日本消防協会の担当者から東日本大震災に伴う日消の対応等について説明を受けました。翌日は、東日本大震災における日立市の被害状況と消防職・団員の対応について、日立市消防本部の公津警防課長から説明を受けることにもなりました。河原子及び久慈浜地区の被災現場を視察しました。



実務担当者会議の様子

消防団員幹部教育 第51期 指導員養成科終了

今年も、県立消防学校において県内各市町村から二十八名の参加を得て、消防団員幹部教育第五十一期指導員養成科が、六月二～三日と六月三十日～七月一日の延べ四日間の日程で行われました。

消防団員の教育訓練を担当する幹部課程というところで、「幹部の心得」をはじめ、「消火活動」「消防訓練」「応急手当」「救助活動」等、訓練を重点とした研修を実施し、幹部団員としての知識や技術の習得に努めました。今後、地域に戻っても新人団員をはじめ若い団員に対する教育訓練にご活躍されますようご期待申し上げます。



「建物火災」消火訓練

福祉共済事業の 給付及び掛金の 改定

日本消防協会の福祉共済制度には、県内の消防団員の全員及び消防職員の一部が加入しております。この度の東日本大震災の発生により、かつてない極めて多数の消防団員等の加入者が殉職したため、平成二十三年五月に開催された日本消防協会理事会・代議員会において福祉共済制度規約が改正され、次のとおり福祉共済事業の弔慰金等の減額及び掛金の一時的な引き上げが行われこととなりました。このため消防事務担当者におかれましては留意いたすとともに、加入者への周知徹底をよろしくお願いいたします。

◆弔慰金等の減額等
当分の間、殉職者に支払われる弔慰金等の額は、二百万円(弔慰金千円万円、遺族救護金百万円)となります。今回の大震災による消防団員の死者・行方不明者は未確定ですが、七月中旬で約二百五十人となっております。この内の多くの方が弔慰金の対象となる公務災害により死亡と考えられております。このような場合には、従来は弔慰金二千万円、弔慰救済金が七百万円、遺族救護金百万円の計二千八百万円が支払われるのが一般的で、仮に二百五十人に支払うには年間掛金二十六億円の約三倍近い額が必要となります。

◆掛金の一時的引き上げ
平成二十四年度から平成二十六年度までの三年間に限り、年掛金がこれまでの三千万から四千万円に引き上げられました。

◆掛金の一時引き上げ
今回の災害では、支払準備金を二十四億円取り崩して対応することとしていますが、今後の地震や風水害の発生の可能性を考慮し、共済事業の安定的な運営を確保するためには、できるだけ早期に三十億円を超える額を確保する必要があります。この三年間で支払準備金の積戻しをすることとしております。

今後においても、消防団員等の福祉を確保するためには、福祉共済事業は存続させなければならぬものであり、加入者みなさんに趣旨をご理解いただくようお願いいたします。

しかし、現在調達できるのは約三〇億円程度であることから、これを二百五十人に配分するとすると、一人あたり



平成二十三年 春の叙勲・褒章

東日本大震災の影響により発表が遅れていた第十六回危険業務従事者叙勲及び平成二十三年春の褒章受章者が六月十五日に、平成二十三年春の叙勲受章者が六月十八日に、総務省からそれぞれ発表(発令日は四月二十九日)されました。

本県からは、春の叙勲が十五名、危険業務従事者叙勲が十四名、藍綬褒章が一名、合計三十名の皆様を受章の栄に浴びました。

勲記・勲章は、六月二十四日(金)、県庁において橋本知事から伝達されました。

国(総務省消防庁)の伝達式は、春の叙勲が六月二十八日(ニッショーホール)、危険業務従事者叙勲が七月五日(日本青年館)、春の褒章が六月二十九日(都市センターホテル)にそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居拜謁(豊明殿)も執り行われました。

受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心からの感謝と敬意を表します。以下、順不同にて受章者の略歴並びに国の伝達式の様子をご紹介します。

※()は発令日現在の年齢

春の叙勲

瑞宝小綬章

- 内田 昭治(七十) 元 筑西広域 消防正監 消防歴 三十九年九月 筑西市在住
- 須之内信夫(七十) 元 鹿島南部 消防正監 消防歴 四十一年十一月 神栖市在住

瑞宝双光章

- 大塚 光(七十八) 元 つくば市消防団 団長 消防歴 五十四年一月
- つくば市在住
- 小田倉和男(七十四) 元 常陸大宮市消防団 団長 消防歴 五十二年十月 常陸大宮市在住
- 栗野 茂(七十三) 元 下妻市消防団 団長

瑞宝単光章

- 消防歴 四十三年 下妻市在住
- 飯村 悦夫(七十九) 元 つくば市消防団 副団長 消防歴 五十四年
- つくば市在住
- 海老原 功(七十三) 元 取手市消防団 団長 消防歴 四十四年三月 取手市在住
- 白川 宏(六十五) 元 桜川市消防団 団長 消防歴 四十一年 桜川市在住

瑞宝単光章

- 石川 友久(七十七) 元 水府村消防団 団長 消防歴 三十四年十一月 常陸太田市在住
- 梅原 哲(七十三) 元 ひたちなか市消防団 分団長



春の叙勲伝達式(ニッショーホール)

第十六回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

- 青木 昭一(六十五) 元 笠間市 消防監 消防歴 四十一年六月 笠間市在住
- 石井 隆直(六十六) 元 土浦市 消防監 消防歴 四十七年三月 土浦市在住

- 消防歴 三十九年一月 ひたちなか市在住
- 櫻井 襄次(七十一) 元 石岡市消防団 副団長 消防歴 三十六年五月 石岡市在住
- 永井 三好(六十五) 元 鉾田市消防団 団長 消防歴 三十七年七月 鉾田市在住
- 生井 清重(七十三) 元 石岡市消防団 副団長 消防歴 四十七年三月 土浦市在住
- 石下町消防団 団長 消防歴 三十四年一月 常総市在住
- 箱守 勝(六十六) 元 筑西市消防団 副団長 消防歴 四十一年 筑西市在住
- 横山 武司(六十九) 元 土浦市消防団 副団長 消防歴 四十七年三月 土浦市在住

- 元 土浦市 消防監 消防歴 四十二年 美浦村在住
- 稲葉 優(六十五) 元 筑西広域 消防司令長 消防歴 四十二年 結城市在住
- 稲見 勲(六十九) 元 筑西広域 消防正監 消防歴 四十一年十月 筑西市在住
- 坂本 昌弘(六十七) 元 土浦市 消防監 消防歴 四十二年一月 土浦市在住
- 庄司 建一(六十五) 元 鹿島南部 消防監 消防歴 四十年六月 銚子市在住
- 鈴木 優(六十五) 元 那珂市 消防監 消防歴 四十一年一月 笠間市在住
- 園部 実(七十) 元 日立市 消防監 消防歴 四十一年五月 東海村在住
- 田口 昭一(六十六) 元 笠間広域 消防監 消防歴 三十九年六月 笠間市在住
- 谷 英次(六十七) 元 茨城西南 消防監 消防歴 三十九年 小山市在住
- 寺門 正男(七十五) 元 水戸市 消防監 消防歴 三十五年二月 水戸市在住
- 藤坂 英晴(六十八) 元 水戸市 消防監 消防歴 三十六年八月 水戸市在住
- 宮田 剛(七十) 元 日立市 消防監 消防歴 四十一年五月 日立市在住
- 山田 征男(六十五) 元 鹿島南部 消防正監 消防歴 四十一年八月 鹿嶋市在住



危険業務従事者叙勲伝達式(日本青年館)

藍綬褒章

- 今橋 松男(六十三) 消防歴 四十三年十月 日立市消防団 団長 日立市在住



日立市消防団 今橋団長ご夫妻

北茨城市で取材

日本消防協会は、東日本大震災の記録誌を作成するため、八月六日に被災地の北茨城市において被災状況と消防職・団員の活動状況の取材を行いました。



取材の様子

編集後記

立秋を過ぎるの上では秋となりましたが、残暑お見舞申し上げます。

昨年に引き続き今年も猛暑日となる事が多く、熱中症で病院へ搬送される方のニュースが多く報じられています。

熱中症予防には早めの水分補給(塩分も忘れず)と休養が大事です。またまだ暑い

日が続きますので体調管理に注意し、暑い夏を乗り切りましょう。



Panasonic

- 自動火災報知設備
- 非常電源設備
- 自家発電設備
- CVCF設備
- FAX、パソコン

株式会社入江電機工業所

- 本社 茨城県水戸市大工町2丁目3番23号 TEL.029-224-4614(代表) FAX.029-224-4613
- 千波営業所 茨城県水戸市千波町海通付2027番地 TEL.029-241-3636(代表) FAX.029-244-0540
- 土浦営業所 茨城県土浦市並木1丁目2番20号 TEL.029-821-8498(代表) FAX.029-822-6575

トーハツ 小型ポンプ



V75ESからV10Fまで豊富な機種でお客さまのご要望にお応えいたします。

- 消防ポンプ自動車・消防用ホース
- 消火器 消防服装
- 消防資機材用品一式

トキワ産業株式会社

- 水戸市東原3-6-24 TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360

茨城県代理店 (有) 鈴機

- 石岡市国府5-2-25 TEL.0299(22)3010 FAX.0299(22)5846